

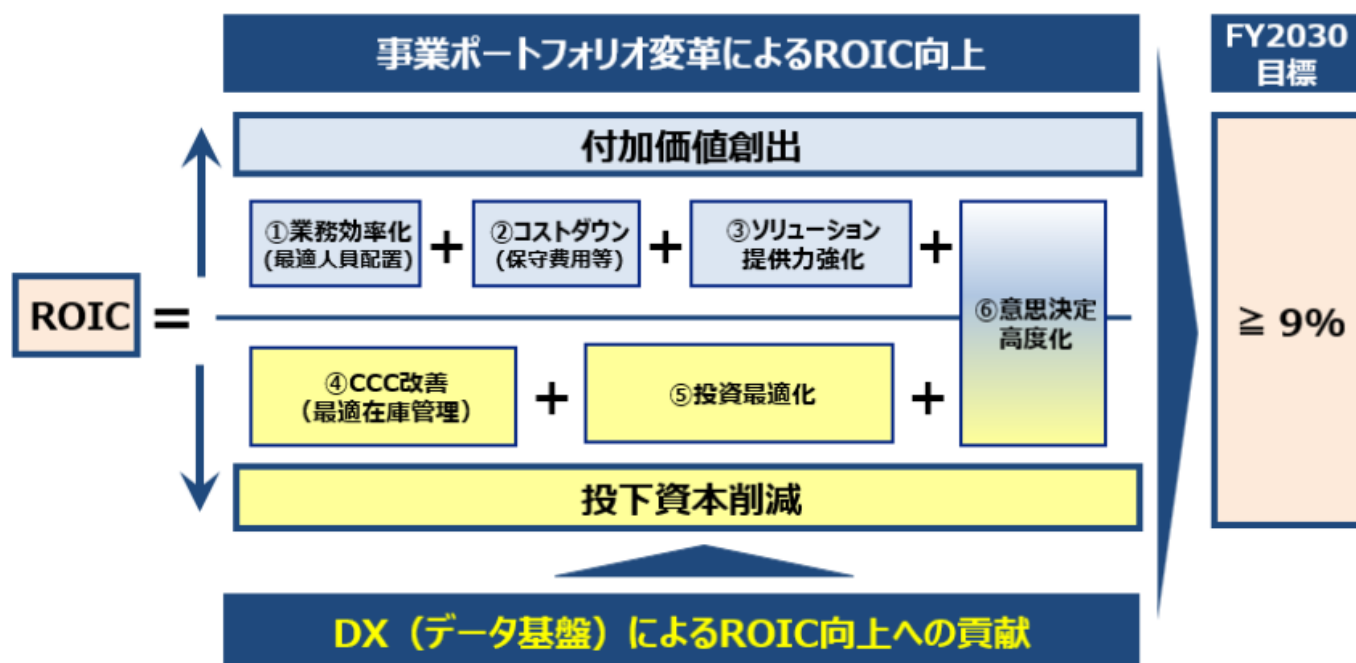
2026 年 7 月 16 日
三井化学株式会社

三井化学、次世代基幹システム「SAP S/4HANA」を核とする 新データ基盤を本格稼働

—企業価値向上に資する業務効率化と経営判断の高度化などを推進—

三井化学株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：市村 聡）は、長期経営計画「VISION 2030」の重点目標の一つとして ROIC9%以上を掲げており、また、その実現に向けた基本戦略の一つとして「DX を通じた企業変革」を推進しています。このたび当社は、当初の計画通り 2026 年 4 月より次世代基幹システム「SAP S/4HANA」を中心に、シナリオプランニング・分析プラットフォーム「Anaplan」、原価計算プラットフォーム「Fujitsu Actual Costs Solutions」、BI（Business Intelligence）ツール^{*1}「Tableau」などの周辺システムを統合した新たなデータ基盤^{*2}を本格稼働させました。このデータ基盤の活用により付加価値創出と投下資本削減を下支え・促進し、FY2030 目標 ROIC9%以上の達成に貢献してまいります。

データ基盤の具体的な活用方法、効果は以下の通りです。



① 業務効率化

シナリオプランニング・分析プラットフォーム「Anaplan」と BI ツール「Tableau」を組み合わせることで、全社レベルでの複数パターンの損益シミュレーションや、様々な切り口での分析を自動で行えるようにします。これにより、データ加工・分析・報告などの業務工数を約 50%削減し、その時間・人員を販売拡大・コストダウンなどの付加価値業務に振り分けることで業績拡大を図っていきます。

② コストダウン

SAP S/4HANA については、アドオン^{*3}を最小化する“Clean Core”の考え方を徹底して開発しました。これにより、今後最新のデジタル技術を迅速に取り込めるとともに、大きな工数を要する更新・保守に伴うコストを 50%以上削減できます。また、原価計算プラットフォーム「Fujitsu Actual Costs Solutions」の導入を通じて、より詳細な原価分析が可能になりました。コストダウンアイテムのタイムリーな抽出・実行を通じて収益改善につなげてまいります。

③ ソリューション提供力強化

BI ツールを用いて新製品開発テーマの進捗や顧客へのアプローチ状況などが見える化し、進捗管理を強化することで顧客へソリューションを提供するリードタイムを短縮します。開発期間短縮によるコスト抑制と、タイムリーなソリューション提供による販売拡大の両立を図っていきます。

④ CCC（Cash Conversion Cycle）改善

BI ツールを用いて市場動向データと当社の販売データを統合し、AI と組み合わせることにより、販売計画の精度向上とそれに伴う必要在庫の最適化を図ります。なお、先行導入するモデル事業において、販売予測に AI を活用することで数十億円の在庫を圧縮しました。今後、本データ基盤の活用を通じてこれらの取り組みを全社展開し、CCC のさらなる改善につなげていきます。

⑤ 投資最適化

BI ツールで ROIC を製品別までブレイクダウンして見える化し、より詳細で適切な課題抽出と戦略議論を通じて事業ポートフォリオマネジメントを強化していきます。また、個別の投資案件については、前提となる市場や事業計画などのデータを充実させ、適切な意思決定につなげることで、投資の最適化を図っていきます。

⑥ 意思決定高度化

需要・市況動向、最新の外部データや販売・収益動向などの内部データを BI ツールを用いて一元管理し、AI と組み合わせることで、データの解析から取るべきアクションの提示までを自動で行えるようにします。これらデータは重要な意思決定を行う様々な会議体で活用し、適切な意思決定と迅速なアクションにつなげていきます。

今後、上記効果の早期実現に加え、データ基盤のさらなる活用と各種 DX 施策の積み増し・実行を通じて、FY2030 の ROIC 目標達成と持続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

※1 BI ツール：企業内外の多様なデータを統合・分析し、ダッシュボードなどで可視化することで、迅速かつ高度な意思決定を支援するツール

※2 データ基盤

ソフトウェア	対象業務	主な改善効果
SAP S/4HANA	販売・調達・会計など 基幹業務全般	・最新テクノロジー導入迅速化 ・“Clean Core”の徹底により保守費用を約 50%以上削減
Anaplan	予算・実行計画の策定・分析	・計画策定・各種シミュレーションの迅速化・効率化 （Tableau と組み合わせることでデータ加工・分析・報告などの業務工数を約 50%削減） ・収益管理の精緻化・高度化
Fujitsu Actual Costs Solutions	実際原価計算、原価分析	・原価分析および収益改善策立案の高度化
Tableau	財務・非財務データの可視化 経営指標の分析	・データの一元管理・解析およびアクションに向けた示唆の抽出 ・CxO の KPI 関連データの迅速な把握

※3 アドオン：SAP の標準機能ではカバーできない自社独自の業務プロセスや要件を満たすために、追加で開発する独自プログラム

[三井化学（株）常務執行役員 CDO 三瓶 雅夫コメント]

三井化学は真のグローバルスペシャリティカンパニーを目指し、ポートフォリオの変革を加速します。この変革を支える基盤として、このたび SAP S/4HANA と周辺システムによる IT・データ基盤を本格稼働しました。当該インフラの活用により付加価値の創出と投下資本の削減を推進し、デジタルによる企業変革と企業価値向上に邁進してまいります。

[合同会社デロイト トーマツ パートナー 田中 義泰様コメント]

三井化学様における次世代基幹システムと新データ基盤の本格稼働を心よりお祝い申し上げます。

本プロジェクトでデロイト トーマツは、Clean Core の考え方に基づく SAP S/4HANA の導入に加え、Anaplan や Tableau など三井化学様の価値創出に資する周辺システムの導入を通じて、将来の変化にも柔軟に対応できる持続可能な基盤の構築をご支援しました。今後も、業務変革とデータ活用の高度化を通じて、三井化学様の DX 推進・企業変革に伴走してまいります。

[TISI（株）常務執行役員 陀安 哲様コメント]

本プロジェクトは、三井化学様の「VISION 2030」の実現に向けた重要な基盤となる取り組みです。

TISI は長年にわたりご支援してきた業務・システム領域への知見と、大規模 SAP 導入プロジェクトの経験を生かし、デロイト トーマツ様と連携しながら、SAP S/4HANA を中核とした IT・データ基盤の構築をご支援しました。

今回整備された基盤が、業務効率化やデータ活用の高度化を通じて、三井化学様の企業価値向上に寄与するものと考えております。今後も継続的な改善とグループ展開を通じて、三井化学様の企業変革を支援してまいります。

以上

<お問い合わせ先>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL : 03-6880-7500

お問い合わせフォーム : https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc_pr_csr_ja?param=13